

大学生協東海ブロック 2023年度 卒業生アンケート報告

ページ 内容

- 1 調査概要
- 2 大学時代の経験
- 3 大学時代に経験できなかったこと
- 4 大学時代のSDGsの関わり
- 5 大学生活は充実していましたか？
- 6 大学生活を一言で表すと!?
- 7 大学生から次のステージに向かう卒業生
- 8 卒業前後の不安や困り事
～追加調査結果報告～
- 9 就職準備に関わる支出について
- 10 卒業後の食生活の変化について
- 11 おわりに:卒業生が見た大学生協

1:調査概要

目的

- 卒業生の大学時代の経験や教訓を後輩に伝え、より良い大学生活を送れるようサポートする
- 卒業される組合員の声を大切にし、今後の大学生協の事業活動の改善に取り組む

方法

- Googleフォームを活用したインターネット調査
- 卒業予定学年の大学生協学生組合員へのメール連絡。チラシ、HPでの呼びかけ

時期

•2023年11月～2024年3月

回答

- 東海地区で2023年度卒業予定の大学生協組合員 約24,000人
- 回答者はのべ3,580人(回答率は備考参照)

備考

- 卒業前後の卒業生の生活スタイルを踏まえ、3つの時期とテーマを設定し、調査を行った

	第1回	第2回	第3回
時期	2023年 11月1日～3月31日	2024年 1月29日～3月31日	2024年 2月26日～3月31日
テーマ	大学生活の経験	大学生活の教訓	卒業前後の困り事
内容	卒論・卒研で多忙期のため簡単に大学生活の経験を振り返る内容	卒論・卒研終了後大学生活を振り返り自由記述中心の内容	就職準備、新生活準備に関わる内容 大学生協への評価
対象人数	24,034	23,883	23,797
回答数	1,402	1,028	1,150
回答率	5.8%	4.3%	4.8%

2023年度卒業の大学生活と社会情勢

年	4年制	6年制	2年制	社会の出来事や大学生活の出来事
2018		1年生		平昌オリンピック
2019		2年生		「令和」に改元
2020	1年生	3年生		4月～コロナ禍:「緊急事態宣言」 ・大学の授業はオンライン化 ・部活・サークル・アルバイトの行動制限
2021	2年生	4年生		東京オリンピック・パラリンピック コロナ禍ワクチン接種開始
2022	3年生	5年生	1年生	ロシアによるウクライナ侵攻 円安、資源高により物価高騰 生成系AI(チャットGPT)登場
2023	4年生	6年生	2年生	5月 コロナ5類移行 イスラエル・ハマス軍事衝突 野球=大谷翔平選手、将棋=藤井聡太竜王の活躍
2024		3月卒業		1月 能登半島地震

2: 大学時代の経験

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
- ②大学外かつ国内での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
- ③大学外かつ国外での活動で以下にある経験をされましたか？経験された時期についても教えてください。【複数回答】
- ④～⑥あなたが大学生生活で1番・2番目・3番目に「時間を費やした」事柄を教えてください。【複数回答】

※上記について以下選択肢からひとつを選ぶ

勉学・研究／試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)／試験合格や資格取得を目指した稽古・練習／アルバイト／社会人活動(収入を得て働く)／所属する学内団体への活動(部活・サークル等)／所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)／趣味を充実させる／余暇を充実させる(遊び)／身体を鍛える／特に思いつかない／他

■ 大学時代に経験したこと・経験の時期

経験内容(%) / 回答数1402人		経験無	経験有合計							卒業までに経験する予定
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
学内	クラブサークルの加入	31.2%	68.8%	53.3%	48.9%	39.9%	25.0%	3.6%	3.6%	0.2%
	学会や研究会での発表(オンライン)	69.8%	30.2%	5.0%	5.7%	7.3%	8.6%	4.9%	2.8%	4.6%
	学会や研究会での発表(対面)	52.0%	48.0%	2.6%	6.3%	10.3%	15.0%	6.2%	8.3%	11.0%
	怪我や病気で大学に行けない期間(数日~10日程度)	68.6%	31.4%	4.4%	8.7%	12.0%	6.8%	2.3%	1.6%	0.7%
	怪我や病気で大学に行けない期間(10日間以上)	87.0%	13.0%	1.3%	1.9%	2.3%	2.0%	0.8%	0.6%	0.6%
学外(国内)	インターンシップ(数日程度)	34.4%	65.6%	3.6%	6.7%	44.6%	10.7%	9.1%	1.1%	3.1%
	インターンシップ(1週間以上)	72.9%	27.1%	2.4%	2.9%	10.6%	2.1%	4.3%	0.6%	4.1%
	短期間のアルバイト(単発:数日程度)	40.4%	59.6%	22.3%	28.5%	25.4%	24.0%	3.6%	3.1%	3.4%
	長期間のアルバイト(1カ月以上)	8.5%	91.5%	71.3%	77.6%	72.9%	65.3%	11.4%	10.3%	1.1%
	国内旅行	8.2%	91.8%	51.7%	64.9%	68.3%	63.3%	12.3%	12.0%	5.1%
	ボランティア活動	57.8%	42.2%	11.1%	16.5%	18.7%	12.1%	1.9%	2.0%	3.5%
学外(国外)	海外旅行	52.4%	47.6%	3.9%	4.9%	5.4%	14.2%	1.1%	3.4%	14.5%
	語学研修	85.0%	15.0%	2.2%	2.2%	2.3%	1.4%	0.2%	0.0%	1.6%
	留学	83.8%	16.2%	1.1%	2.0%	3.0%	3.1%	0.5%	0.4%	1.6%
	海外でのインターンシップ	92.0%	8.0%	0.5%	0.7%	0.9%	0.5%	0.2%	0.1%	1.1%
	海外でのアルバイト	92.6%	7.4%	0.5%	0.4%	1.1%	0.4%	0.1%	0.0%	0.9%
	海外でのボランティア	91.4%	8.6%	0.6%	0.4%	1.1%	0.7%	0.1%	0.0%	1.1%

✓ コロナ禍で入学式が取りやめになったり、いわゆる新歓イベントもなかった世代。学内での活動は大きな影響を与えました

■ 大学生生活で一番時間を費やした事柄

大学生生活で一番時間を費やした事柄 / 回答者数(人)	1402
勉学・研究	42.6%
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	6.2%
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	0.4%
アルバイト	20.8%
社会人活動(収入を得て働く)	0.1%
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	12.1%
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	0.7%
趣味を充実させる	9.3%
余暇を充実させる(遊び)	5.1%
身体を鍛える	0.2%
特に思いつかない	0.8%
他	1.6%

■ 大学生生活で時間を費やした事柄総合順位

大学生生活で時間を費やした事柄【総合順位】	換算P	順位
勉学・研究	2524	1
試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)	649	5
試験合格や資格取得を目指した稽古・練習	75	10
アルバイト	2001	2
社会人活動(収入を得て働く)	18	12
所属する学内団体への活動(部活・サークル等)	84	8
所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)	84	8
趣味を充実させる	936	3
余暇を充実させる(遊び)	717	4
身体を鍛える	60	11
特に思いつかない	112	7
他	333	6

(もっとも時間を費やした事柄=3P、2番目=2P、3番目=1Pとし総合換算ポイントを算出)

✓ 大学で時間を費やした総合順位では学内活動は大きく後退し、趣味や余暇の充実といった項目が上位にランクインしました

✓ 回答者の多くが入学当初からコロナ禍の行動制限下で大学生生活がスタートしました。授業はオンライン授業体制になり、学内団体の活動時間の制限だけでなく、所属団体への加入機会を得られなかった(新入生歓迎イベント、説明会の中止など)ことが影響していると考えられます。

3: 大学時代に経験できなかったこと

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はありますか？【ある/ないの選択式】
- ②経験しておきたかったけどできなかった経験について(その1/その2/その3)【選択式】
- ※選択肢: 海外留学・語学研修、海外旅行、国内旅行、クラブ・サークル活動、ボランティア活動、アルバイト、資格取得、インターンシップ、恋愛、人間関係の幅を広げる、その他
- ③経験できなかった主な要因は何ですか？【質問②その1～その3について最大の要因、第2の要因、第3の要因を質問【選択式】】
- ※選択肢: コロナ禍で経験の機会が奪われた、時間に余裕が無かった、お金に余裕が無かった、「そのうちやろう」と先延ばしにしてしまった、タイミングが合わなかった、このアンケートで「経験したかった」と思い出した、その他

■ 大学時代に経験しておきたかったけどできなかった経験はある？



東海地区の大学生の **70.5%** がある
と回答しました

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験の内容

経験しておきたかった内容:合計	(延人)	順位
海外留学・語学研修	419	2
海外旅行	430	1
国内旅行	99	8
クラブ・サークル活動	329	3
ボランティア活動	122	7
アルバイト	80	10
資格取得	266	5
インターンシップ	82	9
恋愛	223	6
人間関係の幅を広げる	274	4

■ 経験できなかった要因

経験できなかった要因【総合】		順位
コロナ禍で経験できず	27.6%	1
時間に余裕がなかった	18.5%	2
お金に余裕がなかった	14.3%	3
気持ちに余裕がなかった	13.6%	4
先延ばしにした	10.3%	5
タイミングが合わなかった	10.2%	6
このアンケートで思い出した	3.8%	7

経験その1～その3それぞれ「最大の要因=3P、第2の要因=2P、第3の要因=1P」とし、換算Pを算出。
換算P合計における割合を示している

■ 経験しておきたかったけどできなかった経験のある先輩からのアドバイス

<p>いつコロナ禍みたいな状況が訪れるかわからないので、やりたいと思った時に行動するべきだと思いました。 (私立/文系)</p>	<p>先輩や身近にいる大人が学生時代にやらなくて後悔した話をもっと真面目に聞いて、自分の人生と照らし合わせる。学生は時間があることが強み！ (国公立/理系)</p>	<p>高校までと違い、比較的自分の時間を自由に使いやすい分、引きこもっていると簡単に気分が落ち込んでしまうので、意識して外に出ることをおすすめします (国公立/理系)</p>
<p>お金や時間が無いと思って躊躇うことも、やりたいこととして書き出してそのために頑張るといふモチベにしよう！ (国公立/文系)</p>	<p>理論より行動が勝つ 特に若いうちは (国公立/理系)</p>	<p>できなかったことは例えそれがどんなに些細なことでも何年も何年も引きずります。できない理由が踏み出す勇気がでない、億劫とかなんとかできる気持ちの面だけなら自分を引っ叩いて恥かいてでもやった方が後に苦しみ後悔が減って楽になります。 (国公立/理系)</p>

4: 大学時代のSDGsへの関わり

<第1回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

あなたはSDGsにおける 関心のある課題に対してどのような関わりをしましたか？

関心がなく何もしなかった／関心はあったが特に何もしなかった／関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした／関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした

SDGsについてあなたが起こしたアクションについて

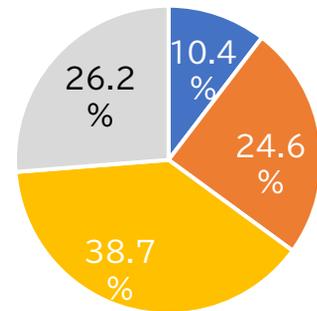
①17のテーマ(複数回答可)

②あなたが起こしたアクションを具体的に教えて下さい(複数回答可)

知識を深めるためのセミナーや学習会に参加/SNS上で自分の意見や考えを発信/署名活動に参加/クラウドファンディングや募金などの資金提供/集会やデモへ参加/就職先を検討する際に重要視した

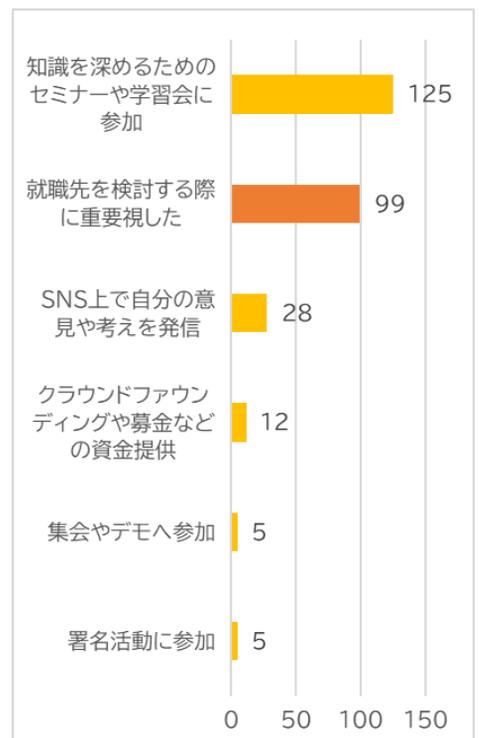
■SDGsへの関わり

	回答者(人)	1402		
関心のあるものについて 自分でできる行動を起こした	146	10.4%		
関心のあるものについて 情報を調べる、考える等の行動をした	345	24.6%		
関心はあったが 特に何もしなかった	543	38.7%		
関心がなく何もしなかった	368	26.2%		



■どんなテーマに対してどんなアクションを起こしたり行動したか

	有効回答者(人)※複数選択	491		
1 貧困をなくそう	79	16.1%	8	
2 飢餓をゼロに	70	14.3%	11	
3 すべての人に健康と福祉を	86	17.5%	7	
4 質の高い教育をみんなに	101	20.6%	4	
5 ジェンダー平等を実現しよう	146	29.7%	1	
6 安全な水とトイレを世界中に	44	9.0%	14	
7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	93	18.9%	5	
8 働きがいも経済成長も	34	6.9%	15	
9 産業や技術革新の基礎をつくろう	32	6.5%	16	
10 人や国の不平等をなくそう	76	15.5%	10	
11 住み続けられるまちづくりを	113	23.0%	3	
12 つくる責任 つかう責任	124	25.3%	2	
13 気候変動に具体的な対策を	77	15.7%	9	
14 海の豊かさを守ろう	90	18.3%	6	
15 陸の豊かさを守ろう	54	11.0%	12	
16 平和と公平をすべての人に	51	10.4%	13	
17 パートナリシップで目標を達成しよう	24	4.9%	17	



✓ SDGsに対して何らかの行動を起こした方の中で「就職先を検討する際に重要視した」という方の割合が高まっています

5:大学生活は充実していましたか？

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

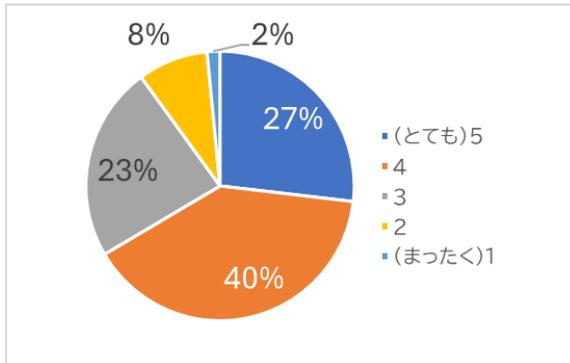
①大学生活はどれくらい充実していましたか？(5件法)5とても~1まったく)

②以下の事柄においては充実していましたか？YES/NO

勉学・研究活動/部活・サークル/友人の存在/憧れ・目指す人の存在/推しの存在/恋愛/やりたいことをやった/将来の展望が開けた/自己肯定感があがった/自分にとって価値のある成果を残せた

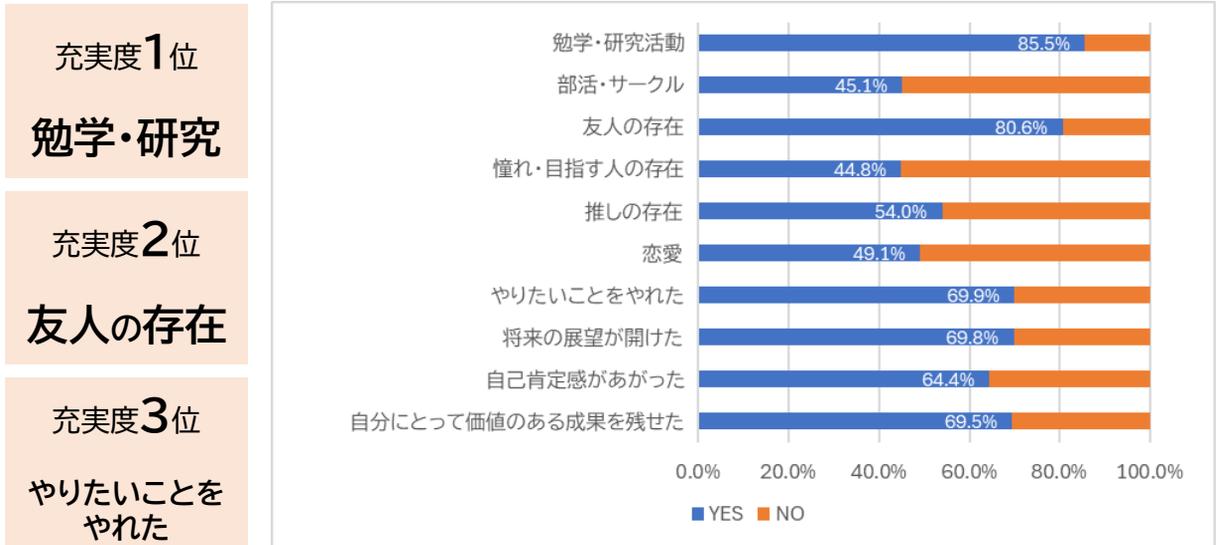
③大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験について具体的に教えてください

■ 大学時代生活はどれくらい充実していましたか？



回答数(人)	1028
(とても)5	276
4	408
3	241
2	87
(まったく)1	16

■ 以下の事柄については充実していましたか？(YES/NO)



■ 大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験・エピソード

<p>アルバイトや実習などたくさんの人と関わることを通して、自分の意見を伝えることと相手の意見を聞くことの両方のバランスが大切だと感じ、苦手だった自分に意見を伝えることができるようになったこと。 (国公立/理系)</p>	<p>一人暮らしやコロナ禍において、誰も何も手を差し伸べてくれず自力でどうにかするしかないとわかった、自身の境遇の改善を図りたければ人になんとかしてもらおうのを待つのではなく、自らアクションを起こさなければならないと理解した。 (私立/文系)</p>	<p>研究活動にて、うまくいかないときも地道に調査と検証、仮説と実践を繰り返すことで成果につながるという経験 (私立/理系)</p>
<p>友人関係を通して、私自身いい意味で変化できたと思う。優しいだけや価値観が合うだけでは友人は成り立たないということが分かり、友人関係を割り切ることができた。そのおかげで素晴らしい友人に巡り会えたと思っている。 (国公立/文系)</p>	<p>ゼミ活動で地域おこしに関わった時に、ゼミの先生→先生の地元→知り合いの方→自分の地元→お店→お店の主人の友人とどんどん繋がりが広がって大きなプロジェクトを成功させることができたこと。 (私立/文系)</p>	<p>高校まで答えがあるものに向かって問題を解いていくことばかりだったけれど、大学に入って答えのないものへの向き合い方を知ったことが成長した。レポート課題や就活の進め方、卒業論文など。 (国公立/理系)</p>

6:大学生活を一言で表すと!?

<第2回卒業生アンケート結果>

【質問内容】

- ①大学生活を「ひとこと」で表してください
- ②「ひとこと」で表した背景を教えてください

有効回答1014人【一部抜粋】

学	学問もそうだが、それ以外の面で学ぶことが多かった。小中高校生時代と比べて自分の裁量でできることが増える環境の中、自分がしたいことを円滑に行動に移すために様々な事を考慮しつつ計画を立てることができた。また、その結果としてどうすると良いかを学ぶ良い機会となった。
楽	あらかじめ、決して楽だというイメージは持たないでほしい。大学時代は、自分のやりたいことができる時でもある。例えば、サークルやクラブ、また一人で黙々と文学・研究に勤しむなどなど、色々あると思う。自分は、その中でコロナ禍は俳句や川柳に打ち込み、明けてからはアルバイトや友達と旅行にも行ったりした。その中で、この時期は楽しんだもの勝ちだと、自分も過ごしてそう思った。ただ、ぼうっと楽に過ごしたら、大学時代は非常にもったいないものだ。(私立/文系)
観	大学生活に入ってから、高校生までにはないような価値観や世界観に多く出会いました。例えば、出身が全く異なり話も噛み合わないこと、文化が異なる海外の方々との出会い、様々な趣味を持った人達との出会いなどがありました。そういった経験からどんな人でも多様性として受け入れられるようになりました。(国公立/理系)
光陰矢の如し	学部で過ごした時間はあっという間でした。思う存分勉強や遊び等に時間を注ぎて満足している一方、あの場面でもっとよく対応できたかも知れないといった後悔や反省点も思い出します。(国公立/理系)
考	大学の授業は与えられたものを学ぶ場であったが、研究は自分で仮説から考察までを行うため、様々な結果から多面的に考える力が身に付いたと思う(国公立/理系)
私	大学生活では、「私とは」「私らしさ」など、自分について考える機会が多くあった。就職に向けて自分を振り返ることもあったが、それ以上に自由に使える時間があることで、自分はどうぞ過ごすか何をしたいかなど自然と自分について考えることが多かった。「私」についての理解を深め、これからは私として生きていくために必要な時間であったと考える。(国公立/文系)
time is money	人生の中で比較的時間的余裕のある大学生の期間を、どう過ごすかは人によってそれぞれです。ただ一言えることは、時間は平等に与えられているということ。部活やサークルに打ち込んだり、語学を勉強したり、留学に行ったり、遊んだりとあらゆる選択肢がありますが、有限な時間の中でたくさんのことをこの四年間の中で経験することができて本当に良かったと思っています。(国公立/文系)
ハーフハーフ	コロナでやりたい事が出来ず、学生生活には多くの後悔が残っている。しかし、学生生活後半にコロナが緩和され学部のプログラム、大学のプログラムに積極的に参加し、人生の中でも特別で大切な思い出を作ることができた。後悔もあるが楽しい学生生活を送ることができたのでハーフハーフといったひとことに決めた。(私立/文系)
雲外蒼天	どんなにつらい時があってもあとから振り返ると楽しかったと顧みることが出来るくらい充実した思い出が形成されると分かったから。(国公立/理系)
自分で構築するもの	講義も自分で履修を組んだり、お金が必要なら自分でバイトの時間を増やしたりと、ライフサイクル自体を自分で決めることができるので、自由と言えば自由だけど、自己管理が甘いとツケが回ってきてしまう。しかし、それが大学生活の醍醐味でもあった。(私立/文系)

7: 大学生から次のステージへ向かう卒業生

<第3回卒業生アンケート結果>

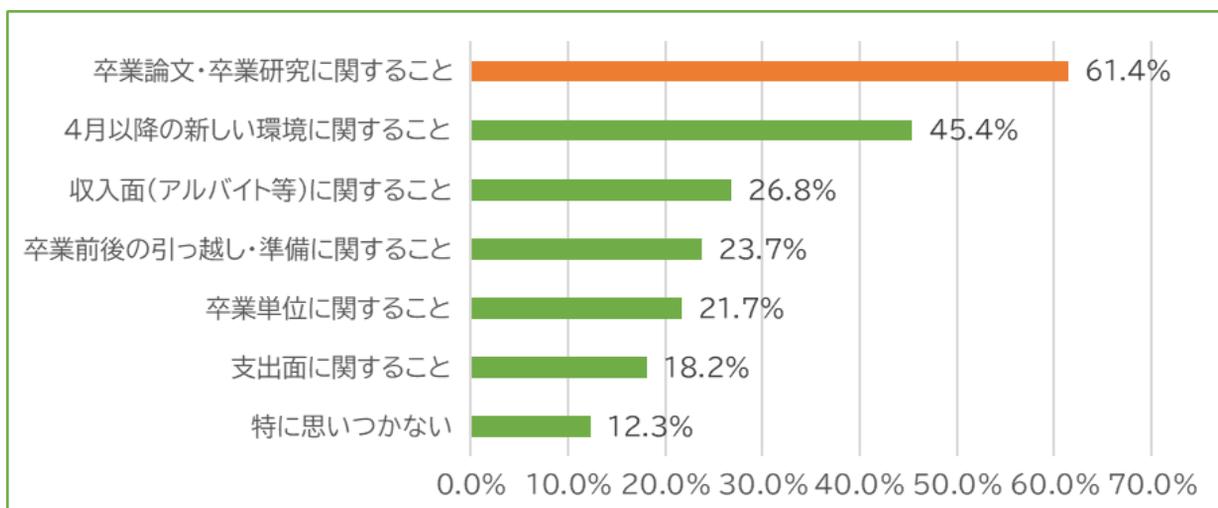
【質問内容】

①昨年秋頃から現在、以下の項目で不安を感じたり、苦労したこと(していること)はありますか？(複数選択可)
卒業論文・卒業研究に関すること／卒業単位に関すること／支出面に関すること／収入面(アルバイト等)に関すること／卒業前後の引っ越し・準備に関すること／4月以降の新しい環境に関すること(うまくやっていけるか、など)／特に思いつかない

②上記回答いただいた事柄について、具体的にどのような不安や苦労したこと(していること)を教えてください。

③「もっとこうしておけばよかった」「事前に知っておきたかった」と思うことがあればご記入ください。

■ 卒業学年の秋から春にかけて不安を感じたり苦労したこと(複数回答)



■ 卒業論文・卒業研究に関する具体的な困り事と「こうすればよかった」

エピソード	こうすればよかった！
研究が思うようにうまくいかずデータとして残すことができず、このままでは十分な卒業論文が書けずに卒業できないのではないかと感じたこと。また、話すのが苦手な私は、報告、セミナー発表時、過度な緊張に吞まれるので不安を覚えたこと。	セミナーや中間報告の発表時に要した期間をもっと効率よく使い短期間で終わらせればよかった。また、実験が思うようにいかない時、忙しくても、もっと同じ研究室の先輩に相談すればよかった。
研究や趣味などやりたいことがたくさんある中、卒論も仕上げないといけないのが大変でした。	普段実験を行うときに、なぜその実験をしているのかという目的を明確にしながらやるのが大切だと感じました。
国家試験受かるかどうか、卒論終わるかどうか	本気になる日をもっと早くしておけばよかった
私が所属していたゼミは、学科一求められることが厳しく、他のゼミであれば許される完成度でも、私のゼミでは本当に卒業させてもらえない可能性がありました。ですので、卒業論文は大変でしたし、卒業できるか心配でした。	卒業論文のテーマ決めが大変だったので、自分が興味のあることをもっと調べておけば良かったです。
卒業研究で自分の思うような結果を得られるか、また発表で他の人よりも自分の発表が劣っているのではないかと不安	ダラダラ研究に取り組みずやる時はやるというスイッチのオンオフを切り替えるようにした方がいい
卒業論文が思うように進まず、締め切りギリギリまでかかってしまったこと。就職先の配属先がわからないこと。(通勤時間などがわからないから)	卒業論文はもっと大学2年、3年次からしっかり骨組みを立てておくべきだった。先生がなんでもいいと言ったので、自分の好きなテーマで進めていたが、参考論文が少なくて困ってしまったので、もっと先輩達の論文からテーマを考えるべきだった。
卒論をいつまでに終わらせることができるかや、成果がなかなか出せなかったことへの不安	先輩の卒論や修論をしっかりと読んだり、周りにアドバイスを求めたりすれば良かった

8:卒業前後の不安や困り事

<第3回卒業生アンケート結果>

収入減少と支出増加に関する困り事

エピソード	こうすればよかった！
研究をするうえで非常に忙しくバイトができず収入が少なく生活に困窮した。	研究室に入るまでに貯金しておくべきだった。
最近生活費が高くなって、これからバイトと研究を同時にやっていけるかについて不安があります。また、前もっていた奨学金がなくなるため、他の奨学金受かるか不安です。	貯金はあるが、もっとお金を稼いでいけばよかったかなと思います。価格が上がることについていけないことを想像していなかったため、もっと準備すればよかった。
卒業研究に費やす時間が増え、アルバイトにあまり入れなくなったこと。	研究室に所属する前に、奨学金について、よく検討しておくべきだった。
引っ越し等で高額な出費があるとわかっているにもかかわらず、院試や卒業論文等のために勉強や研究に集中する必要があり、アルバイトに割く時間がなく収入がないこと	院試期間も定期的にアルバイトをすれば良かった

自分自身に対する悩み

エピソード	こうすればよかった！
将来の仕事の選択が自分にとって良かったのか、本心で人に相談できずに終わってしまいこの先が不安なこと	将来というざっくりとしたものではなくて叶えたい夢に向かって具体的な時期ごとにやるべきことをしっかりと決めておくべきだった
卒業から就職まで、考えることが多すぎて精神的な負担が徐々に増していきました。その結果、やるべきことが後回しになり、各方面にご迷惑をおかけすることになってしまい、さらに精神的な負荷がかかるという悪循環にはまってしまうました。	早め早めの行動を心がけるべきだったと思います。
4年の後半は大学に通うことが少なくなってきていたので、時間ができた分、しっかりと社会人になれるか不安になっていました。	もう少しキャリア支援やゼミの先生などに相談をすればよかったと思っています

引越しや新生活準備に対する困り事

エピソード	こうすればよかった！
全て1人で引っ越しの準備を行ったので、学業と並行で引っ越しの準備を進めることに苦労した。	部屋の片付けは、絶対に普段からしておくべきだったと思います。
4月以降の社会人としての新しい生活について、アルバイトとは異なる、より責任ある立場で、自分に何ができるのか、きちんと仕事をこなすことができるのか、想像がつかず、考えても4月から実際に経験してみないと分からないからこそ、大きな不安感を感じるようになった。また、一人暮らしといった新たな環境で、様々な人たちと関係を構築する必要があるため人間関係や環境に適應できるのか、学生とは異なる社会人として会社時間で働く生活ができるのか、といった面に怖さを感じている。	アルバイト以外、長期インターンなどに参加し、社会人や会社というものを少しでも身近に感じられる環境に身を置いてみれば良かった。

大学生協ができること

卒業後の新生活サポート

- ・新生活のお部屋探し
- ・引越し業者の生協割引
- ・生命共済社会人コースの切替

卒業生によく利用されるサービス

- ・卒業衣装(はかま等)レンタル
- ・卒業旅行 8
- ・レンタカー

サービスの利用提案だけでなく今回の調査結果をもとに卒業直前期の大学生の生活の様子やアドバイス等の情報提供をより一層大切にまいります

追加調査結果報告<民間就職者/5月>より

<第4回卒業生アンケート結果>

第3回回答者のうち、進路先が民間就職と回答した449人に対し卒業後追加調査を実施した。

目的：卒業直後の生活変化や生活変化に伴う行動実態を把握する
 名称：第4回卒業生アンケート
 方法：インターネット調査(メール連絡⇒WEBフォーム回答)
 時期：2023年4月27日～5月13日(入社して最初のゴールデンウィーク期間)
 回答者：204(回収率45.4%)

9:就職準備に関わる支出について

【質問内容】

就職先が決定してから必要となった費用全般についてお聞きします。
 費用はどのように用意しましたか？(複数選択可) その中で最も高い割合を占めたのは？
 貯金を取り崩した/親や親戚からの援助/お勤め先からの援助/ローンを組み入れた/その他

【1-1】就職準備のためにもっとも費用がかかったのはどれですか？

新居契約の初期費用/引越し費用(家具・家電類を除く)/新たな家具家電の購入/パソコン(タブレット含む)/身の回りの物(スーツ・時計・カバンなど)/自家用車/入社前の資格取得・検定受験に関わる費用(対策講座受講含む)/特に思い当たらない/その他

【1-2】具体的な金額を教えてください

0円/1円以上5万円未満/5万円以上10万円未満/10万円以上15万円未満/15万円以上20万円未満/20万円以上50万円未満/50万円以上100万円未満/その他

就職準備にかかった費用の総額を教えてください。「その他」を選択された場合は〇〇万円とご入力ください(選択肢は1-2と同じ)

■ かかった費用の総額<卒後の居住形態別>

■ 資金はどのように用意したか

費用の総額(回答204人)			親と同居 112人		親と同居以外 92人		回答204人	資金はどのように用意したか？ (複数回答可)		もっとも高い割合を占めた	
0円	22	10.8%	19	17.0%	3	3.3%	貯金を取り崩した	141	39.8%	89	43.2%
1円以上5万円未満	41	20.1%	33	29.5%	8	8.7%	親や親戚からの援助	154	43.5%	100	48.5%
5万円以上10万円未満	35	17.2%	18	16.1%	17	18.5%	お勤め先からの援助	29	8.2%	11	5.3%
10万円以上15万円未満	22	10.8%	12	10.7%	10	10.9%	ローンを組み入れた	1	0.3%	1	0.5%
15万円以上20万円未満	19	9.3%	7	6.3%	12	13.0%	その他	0	0.0%	3	1.5%
20万円以上50万円未満	28	13.7%	6	5.4%	22	23.9%					
50万円以上100万円未満	24	11.8%	10	8.9%	14	15.2%		325		204	
100万円以上	12	5.9%	6	5.4%	6	6.5%					
その他(「わからない」)	1	0.5%	1	0.9%	0	0.0%					
	204		112		92						

■ 費用がかかった具体的な内容<卒後の居住形態別>

費用がかかったものの 具体的な内容	全体(204人)						卒後の居住形態別					
	全体(204人)		親と同居(112人)		親と同居以外(92人)		親と同居(112人)		親と同居以外(92人)		親と同居以外(92人)	
	一番費用がかかった	2番目に費用がかかった	1番費用がかかった	2番目に費用がかかった	1番費用がかかった	2番目に費用がかかった	1番費用がかかった	2番目に費用がかかった	1番費用がかかった	2番目に費用がかかった	1番費用がかかった	2番目に費用がかかった
身の回りの物(スーツ・時計・カバンなど)	70	34.3%	31	15.2%	60	53.6%	18	16.1%	10	10.9%	13	14.1%
新居契約の初期費用	36	17.6%	15	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	36	39.1%	15	16.3%
自家用車	29	14.2%	0	0.0%	22	19.6%	0	0.0%	7	7.6%	0	0.0%
新たな家具家電の購入	26	12.7%	29	14.2%	0	0.0%	3	2.7%	26	28.3%	26	28.3%
特に思い当たらない	21	10.3%	90	44.1%	20	17.9%	77	68.8%	1	1.1%	13	14.1%
引越し費用(家具・家電類を除く)	13	6.4%	22	10.8%	3	2.7%	1	0.9%	10	10.9%	21	22.8%
その他	4	2.0%	2	1.0%	4	3.6%	1	0.9%	0	0.0%	1	1.1%
入社前の資格取得・検定受験に関わる費用 (対策講座受講含む)	3	1.5%	12	5.9%	2	1.8%	10	8.9%	1	1.1%	2	2.2%
パソコン(タブレット含む)	2	1.0%	3	1.5%	1	0.9%	2	1.8%	1	1.1%	1	1.1%
	204		204		112		112		92		92	

10:卒業後の食生活の変化

<第4回卒業生アンケート結果>

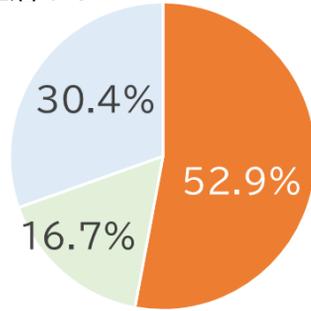
【質問内容】

毎日の食事について教えてください
 基本3食摂っている/朝食抜きが多い/全体的に不規則になっている/その他
 大学時代と比較して現在の食生活は？
 健康的になったと思う/不健康になったと思う/変わらない
 上記のように回答された理由を教えてください

■ 大学時代と比較して現在の食生活は？

全体結果(204人)

健康的になったと思う	108	
不健康になったと思う	34	
変わらない	62	



毎日の食事について(204人)

基本3食摂っている	174	85.3%
朝食抜き	22	10.8%
不規則	7	3.4%
その他	1	0.5%

健康的になったと思う理由

回答者(82人)自由記述要約	
生活リズムが整った	29
三食摂るようになった	17
会社の食事が良い	13
自炊の工夫	12
バランスの良い食事	16
家族が作る食事	7

不健康になったと思う理由

回答者(29人)自由記述要約	
バランスの悪い食事	10
忙しい・余裕がない	9
自炊の悩み	4
生活リズムの乱れ	4
外食・コンビニの増加	3
ストレス・元気がない	3

大学4年生の頃は4:00に寝て10:00に起きる生活をしていました。ですが強制的に11時に寝て6時に起きる生活になったおかげで体調が確実に良くなりました！！

大学生の時は朝食を取らないことが多かったのに加え食事のバランスも偏っていたから。

朝食を摂るようになった。朝食を摂らないと仕事のやる気が出ないため。

食べている物はさほど変わらないが、大学生の時より仕事終わりのご飯の方が美味しく感じるから精神的な意味で健康になっている

仕事が終わるのが22:00で、次の日も早いとどうしてもコンビニで1品買ってしまう。またストレスを貯めないために、甘いものを常に備蓄するようにしたら心は健康だが体はどうか分からない。(^^)

大学時代は昼食を学食で取っていたが、現在はコンビニで調達しているため

野菜を食べる機会が減った。1人だと炭水化物のみになりやすい。

時間がなく、あまり自炊ができていないから

【質問内容】大学生協の食堂を思い出しく感じるエピソードや「また食べたい」と思うメニューを教えてください

自由記述 92人回答／一部掲載… ■みんなでワイワイ食べていたのが懐かしい。「オクラの巣ごもりたまご」と「15品目のサラダ」をまた食べたい。 ■まぐろたたき丼 ■ラーメンが美味しかったです！安いし最高でした！！ ■カツにトマトソースかかったランチセットが好きだった。味噌汁もご飯も野菜もあって、一時毎日のようにランチセットを頼んでいた。 ■ナンとインドカレーフェア ■ナンを焼いてくれる期間に行くことが出来なかったので行ってみたい ■スンドゥブ ■限定20食のお昼ご飯を早めに並んで食べたこと ■生物の丼ものが最高 ■鮭丼 ■ハンズランチ ■ボリュームとスタミナを付けるために、「肉のせ蕎麦(大盛)」をよく頼んでました。 ■日常の食の選択肢に食堂がある生活が本当に幸せだったと思う。栄養も考えられていて、気軽に行くことができた。勤務時間の兼ね合いでもう食堂に行くことができないのが寂しい。1度だけ食べたことがあるカレーうどんが好きでした。 ■さらさら豚茶 ■購買の日替りの丼ぶり ■毎日お弁当で美味しく食事しているが、温かいごはんや麺を食べなくなる時に食堂を思い出す。サーモン丼やラーメンをまた食べたいと思う。 ■冬の寒い日に震える体を味噌汁でなんとか温めていた。 ■冬の豚汁が大好きでした。 ■汁なし担々麺 ■友人と授業の間に食べて、楽しい経験ができた。 ■揚げ鶏丼油淋鶏ソース ■パートナーと一緒に昼食を食べたことが懐かしい ■そう政治カレー(しょうもなすぎて記憶に残っている) ■大学の友人と楽しく食べたこと(社会人になってから友人と食べることがなくなったので) ■大学2年生の時に今まで食わず嫌いをしていた、オクラの巣ごもり卵に挑戦したところ、それから在学中は毎日食べていた ■社食がないので、コンビニ弁当を食べるたびに大学の食堂や生協のコンビニがいかに楽で安価だったかを感じる他多数

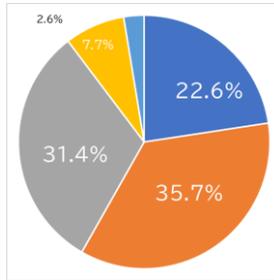
おわりに:卒業生が見た大学生協

<第3回卒業生アンケート結果より>

【質問内容】

大学生協に対する満足度を教えてください(5件法 5とても満足~1とても不満)

回答者(人)		1150	
(とても満足)5		260	22.6%
4		410	35.7%
3		361	31.4%
2		89	7.7%
(とても不満)1		30	2.6%



東海地区の卒業生における
生協満足度は
2023年度

3.67
でした

【質問内容】

大学生協は「4つの使命」のもと、事業活動を行っています。ご存じでしたか？
知っていた／なんとなく知っていた／今初めて知った

回答数(人)	1150	
知っていた	97	8.4%
なんとなく知っていた	326	28.3%
今、初めて知った	727	63.2%



1. 学生・院生・教職員の**協同**で大学生活の充実に貢献する
2. 学びのコミュニティとして大学の理念と目標の実現に**協力**し、高等教育の充実と研究の発展に貢献する
3. **自立**した組織として大学と地域を活性化し、豊かな社会と文化の展開に貢献する
4. 魅力ある事業として組合員の**参加**を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する

【質問内容】大学生協があって良かったな、と感じた場面やエピソード、思い出について自由にご記入ください

自由記述733人が回答／一部掲載…■両親が新型コロナウイルスに罹患してしまい、実家で食事の準備をしてもらうことができなくなった時に、学食で三食とも補えたことがあり、大学生協のおかげで食事の面で困らずに済んだということがあります。■入学時はコロナ禍で登校もできなかったが、生協のイベントで先輩の話を聞くことができました。■留学のエージェントを選ぶときに、生協を通してエージェントなら信頼できると思い選択しやすかった。■友達と生協の食堂のケーキフェアなどを楽しみにして、授業を頑張ることができた。■本を安く買えたこと。友達と生協店舗にお昼ご飯やおやつを買いに行っていたのですが、そういう日常がとても良い思い出になった。■母校の三重大学では3Lの白衣の在庫がいつもあって助かった。他大学の附属病院を見学を訪れたとき、その大学の店舗で購入できることをあてにして持っていけなかったことがあったが、取寄になると言われて危機におちいった。■保険で怪我や病気のときに寄り添っていただけたのは心強かった。また普段も、ショップに行くことで勉強の息抜きとなった。■コンビニで友人とお昼を買って、ベンチで一緒に食べたこと。焼きたてパンがとても美味しかった。■入学前の部屋探しで、大学生協に紹介してもらった。県外から来た身として、土地勘がないところでの部屋探しは大変だっただろうから、大学生協経由で部屋探しできてよかった。■卒業式の袴をレンタルするのに、試着会(?)を開いてくれたことで、自分で調べる手間が省け、スムーズに決めることができた。■店員さんがレジの時、雑談したり声をかけてくれて優しかった■大学生協の公務員講座を受講し、無事志望していた自治体から内定を貰うことができたので、自分の大学生活の中で生協の存在ははかなり大きかったです。■大学生協が運営している食堂でよく食べた食事が、大学生活の思い出の一つだったこと■大学生協があったおかげで、大学生活がより過ごしやすくなっていると感じます。車校や袴選びなど様々な場面でお世話になりました。■大学生が扱いやすいpcであったり保険を提供していただいたことであまり不自由を感じることなく安心して学生生活を過ごすことができた。■大学学部生の時に総代をしていましたが、いろんな学部の人と出会う場がありよかったなと思いました。■大学の生協は、店員さんがフレンドリーに接していただき名前を覚えていただける程仲良くなり、毎日利用するのが楽しかったです。■卒論、大学院入学試験などで忙しくてご飯を作る時間がないときに食堂が栄養バランスを考慮した食事を提供してくれました。■卒業旅行で使用した学割プランが非常にお得でした。■大学生協があることで安心して大学生活を送ることが出来たのが良かったなと思いました。他多数

卒業生アンケートに関する詳細や
深掘り調査に関する情報を
大学生協東海グループCoe(こえ)
で連載しています。
ぜひご覧ください

